

回答番号	年齢(世代)	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
1	40-49歳	多様な子供たちが同じ空間で教育を受けられることを望みます。最近の市民意識調査では、学校教育に望むことはどのようなことか?という問いに、能力や障害の状況にあった指導をしてほしいという意見が49.4%でした。これまで障害特性に合った教育を提供するために特別支援教育を推進してきましたが、本来であればすべての子供が地域の学校に通い、友達や兄弟と一緒に成長していくべきだと考えます。しかし、実際には彼らを支える制度、支援、合理的配慮の提供が少なく、特別支援学校を選ぶしかありません。他の回答では障害の状況に関わらず、通常の学級で受け入れてほしい9.0%、通常の学級との交流機会を増やしてほしい15.7%と分けられることへの憤りが、数字に表れています。国連からの指摘やSDGsの目標4も、「質の高い教育をすべての人に提供する」という方向性を示しています。すべての子供が差別を受けずに学べる環境を作ってください。	3	多様性、合理的配慮
2	40-49歳	○年齢にとられない学習 それぞれ発達が違うので、1年生でも6年生の学習をしても良いし、苦手なところは逆があっても良いと思う。大人も「もう○○歳なのにできない?他の人はできるのに。」なんて言われたら嫌じゃないですか? ○自分や皆の得意、苦手を知り、協力して学習 何かしなければならぬ時、学校では一人で頑張らされる事が多いですが、自分の苦手は誰かの得意な事だったりするので、それぞれの得意を生かせるような学習が必要だと思う。日本人は周りに頼るのが苦手なのは、子どもの頃からずっと「自分が努力すれば、頑張れば、できる!」と思わされているからだと思う。苦手な事やできない事は誰かに頼り、協力していこう! ○特別支援教育の超カリスマ! 明星大学 星山麻木教授にご意見を聞きましょう! 明星大学は日野市にあります。星山教授にもっと日野市の教育に関わってもらいたいです!先生、環境が変われば子どもは変わります!	その他	個別の支援、特別支援教育
3	30-39歳	学びの空間として、用途の自由度の高い(動かせる)設備が備えられていることは理想的です。一方で、教室が開かれ過ぎていると、静かに集中できないなどの弊害もあり、後から改修費などもかかります。オープンプランの悪い面も鑑みることが肝要だと思います。環境衛生に配慮がほしいです。よく日の当たり風通しがいい、緑が多く癒される、エアコン完備など、気持ちよく学べる土台を充実してほしいです。これらは職員室にも同様ですが、フリーアドレスは集中力が散漫になったり、準備・片づけに時間がかかったりする欠点も見られるほか、情報管理に適さないため反対です。地域(市民)として求めたいのは施設の開放です。いまもなされているとは言え、手続きが煩雑で利用団体も同じ顔ぶれに独占されている印象があり、利用のハードルが高いです。将来構造的には、公民館や駐在所など機能的相性のいい施設を組み合わせた、持続可能性の高い公共施設が望まれます。	2,8	オープンスペース、地域開放
4	無記入	日野市の学校施設と社会施設は古いだけでなく、まともな手入れがされていない。ここまで老朽化が進み、時代適格がなされていないこれらの公共施設の方向付けは急務である。タイトルにあるとおり、学校教育と社会教育は一体で考えていくべきもの。日野市の社会教育のあり方が全く見えない。子どもの環境を最優先に考え、それを支える学校と社会教育の融合のあり方を真剣に考え、確実に実行に移行して欲しい。重要な判断をこれ以上先送りしてはいけない。	8	社会教育施設
5	50-59歳	学校の教育制度が、明治時代戦前から150年間変わらず現代に合わないです。1人一台配布されたノートパソコンやオンライン配信授業は充実してきていますが、学習指導要領の中身に合わせた教材を揃えていく必要があります。机の配置を変えた方がいいです。海外の学校を参考にすると、コの字型で並列ではない配置です。生徒同士がコミュニケーションがとりやすく先生の立ち位置も見やすい真ん中です。カリキュラムもクラス毎ではなく、柔軟に単位を取る方法、大学みたいに興味関心がある教科を取る履修方法などを取り入れる。学校の時間拘束が長すぎるため、午前中だけの曜日、午後だけの曜日などを組み込んだ柔軟なスケジュールにした方が心身に余裕が出ます。家庭にいる時間が少な過ぎるため保護者と過ごす時間がありません。農作業や生活体験活動、調理などを増やす方がいいです。机上の学習より体験型学習に比重を置いたカリキュラム全体の改革が必要です。	2,その他	学校施設/机レイアウト、カリキュラム
6	40-49歳	難しいことをやる前に、まず教育環境を整える・良くする、当たり前の環境整備を少しでも早く実現することを考えてほしい。一体何年前の学校設備を使っているのか?自分が小学生時代の時から変わっていないように見受けられる。古い校舎、ボロボロの壁、汚いプール...子どもたちが本当に可哀想です。	その他	老朽化
7	40-49歳	学校施設や校庭の貸出を、有料にするのはやめてください。子どもたちが生き生きとスポーツや文化的活動をするために、保護者や地域の方々ボランティアでサポートしています。各家庭の毎月定額の費用が、低額での活動ができるからこそ、どんな家庭環境であっても前向きに所属でき参加できます。何かを背負いながら参加することは、子どもにとっては、生涯の心のキズになり、大人になったとき、社会でいきづらくなると思います。長い見通しを持って、市政は考えていかなければならないと思います。	8	地域開放、有料化
8	30-39歳	登校、下校をスマホに知らせる機能がほしいです。算数、英語、プログラミングは専門の先生が指導していただけるとありがたいです。校内のトイレが老朽化しています。汚くて使いたくないようです。また学童に入るのが困難な子供達のために放課後の教室や校庭の開放を望みます。いま1部屋のみの開放で混雑して行きたがらないです。学校周辺の公園についてですが外灯、時計、トイレのある場所が少ないです。とくに外灯は少なく防犯が心配です。	8	トイレ、地域開放
9	無記入	大坂上中学校が全国大会、関東大会と出場しているのを知りました。ここでスポーツを盛り上げたいかかでしょうか?ふれあいホールにはハンドボールコートがないみたいですね。大会に出場しているのにハンドボールコートが無い体育館があるとは残念です。	その他	体育館、部活
10	40-49歳	子供が発達障害なのですが、よく聞く「集団生活が苦手」や「聴覚情報を聞き取れない」等の特性への合理的配慮はもちろんですが、どうしても逃げられない学校行事(運動会や発表会や〇〇大会等)の練習が嫌で学校に行けなくなる子供も多いかと思います。行事そのものを不参加という選択はあるのに、学校に行けば練習に不参加はなかなか難しい。"行事の練習を強制されず、好きな学びができる"そんな学校のシステムだと、苦しまずに済む子供が増えるのではないかと感じています。	その他	学校行事
11	50-59歳	子供が小学生の頃、ひのっちの存在に助けられました。そこで宿題をしたり大学生のパートナーさんと遊んだり勉強をみてもらったり感謝しています。小学生の勉強の格差がコロナ禍以降さらに広がっていると感じます。寺子屋的な場所が学校内にあると中学で苦しまず最低限の知識(3年生で九九、筆算等の理解不足)を得ることができると感じます。	その他	学習支援
12	40-49歳	インクルーシブ教育の導入。障害のある生徒と障害のない生徒が同じ教室で一緒に学ぶ。能力や個性による分断をなくす。そのために教職員、学校関係者だけではなく、保護者、地域住民がボランティアで学校に入り協力できるシステムの確立。先日小学校の学校公開にて、体育で特別支援学級と通常学級が一緒になって授業を行う様子を見ました。そこで特別支援学級の生徒を、通常学級の生徒の進行に、先生が合わせさせている様子を見ました。具体的には、列からはみ出した生徒を無理やり戻す、質疑応答の時間帯に質問しようとした生徒を黙らせる(遅延するから?)など。私はショックを受けましたが、周りの先生も、通常学級の生徒も、それを良しとしている様子でした。学級がいじめと差別の温床になっていると、とても残念に感じました。学校が決断すれば、協力者は出てくると感じます。多様性を尊重する社会を作るため、教育現場を見直す必要があると思います。	3	インクルーシブ
13	40-49歳	日野四小中学校に子どもを2人通わせています。まず、体育館にエアコンをお願いします。このご時世無理です。そして、四小中学校の周り、とくに学校に近い交差点に、大人が誰も立っててくれません。子どもが入学したときから、学校に着く最後の交差点が歩道がなくてあぶないのに、日野市とかかれたおじさんやおばさんは、立っていたとしても月曜日1日、先生方をお願いできないものかと、校長先生にたのんでも、何の動きもありません。よく交通事故が起きてない、今まで起こってないのかなと思っています。なので、私は、仕事の出勤ギリギリですが、校門まで子どもと一緒に歩いて行っています。そうでないととにかく1番学校に近いところが危ないからです。そのような意見を汲んで頂きたいと思っています。	その他	空調機、通学路
14	30-39歳	年少の子どもがいます。小学校入る時に場所見知りしたり慣れるまで時間がかかったり楽しい場所と把握するまで時間かかる子もいると思うので幼児対象に校内探検や校庭の使用だったり日曜日の午前中とかだけでもいいので月1で開放出来たら楽しいのかなと思います。体育館で少し遊んだり出来たらいい経験になるのかなと思います。	その他	プレ体験
15	40-49歳	子どもたちが将来に希望を持てるような学習内容と学習空間にしてもらいたいと思っています。昔の学校よりも自由である分、子どもたちやその保護者は、将来の幅が広がると同時に戸惑うことも多いのではないかと思います。さまざまなことに触れて経験することは大事ですが、将来的にどんな仕事が必要なのか、生活できるかなどそういった具体的なことも教えてあげて欲しいと思います。	1	キャリア教育
16	30-39歳	安心感があり、リラックスできる、心地の良い空間。大人も子供も集える、地域コミュニティの拠点。子供2人が南平小に通っていますが、公開授業にいくと、教室の狭さに驚きます。あんな狭い空間、あの人数の子供たちでは、密度が高すぎます。空気もよんどです。あれでは、教室にいてストレスが溜まると思います。前後左右のお友達との距離も近すぎて、いざこざも発生しやすくなると思いますし、のびのび過ごさないと感じます。ひとクラスの人数を減らすなど、検討よろしくをお願いします	2	生活環境、
17	50-59歳	地球温暖化緩和のため○校庭は土、芝生を増やす。○暑さにも寒さにも病害虫にも比較的強く、食用など多目的、多種樹木の植樹。○農地の確保。○用水の引き入れ。○自然科学教育の強化。○生活力の強化。○体力(遊び)増強	10	環境負荷

回答番号	年齢（世代）	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
18	30-39歳	府中から日野市に越してきて感じるのが、公共の施設での子供の習い事の、少なさを感じます。南平体育館は、新しく建ったのに、子供の習い事としてはあまり活用されていないような印象です。種類が少なく活気がないと感じております。文化系お勉強などの習い事も平山南平エリアは少なく、少し離れると1人で行くことができないことも多いです。	その他	習い事
19	30-39歳	まず、過ごしていることもたちが環境で体調を崩すことのない場所であってほしい。こどもの通う体育館が扇風機だけなのですが、昨今の暑さは尋常ではなく、エアコンがつくと安心します	その他	体育館、空調機
20	30-39歳	学校のプールは老朽化しているので、地域のスイミングスクールと連携して、改修しなくてすむようにしてほしい。校舎はオープンスクールが流行っているが、子供達が集中しにくくなる場合があるので、よく検討してほしい。地域の防災訓練を活発に行い、災害時学校に避難した時に落ち着いて対応できるようにしたい。一部の地域では防災訓練があるようだが、よく分からないので、もっと情報発信してほしい。	9	プール、防災拠点
21	30-39歳	障害のある子と健常者の子が同じ空間で学べるといいなと思います。子どもの安全を守るというところでは、日中に関しては色々な方があまり出入りしない方がいいかと感じます。放課後に関しては中学校のように外部の方の指導が受けられる場になるといいなと思います。	3	インクルーシブ
22	40-49歳	空き教室を利用して高齢者と乳幼児混合型、或いは別も含めデイサービスを開設しては良いかと思っています。普段から出入りしておくことで災害時に避難した際、慣れた施設として過ごせると思います。コロナ禍に夢が丘小学校で6年生の行事で行った、学校泊も良いと思いました。	7、9	複合化、防災拠点
23	40-49歳	色々な学校の良い所をたくさん取り入れて行って多くの学びを体感してほしいです。外泊などイベントも1年生の時から学校に泊まったりして、そこで家では学べないたくさんを経験してほしいです。(防災泊とか小さなうちから防災について学んだりできるよう午後から登校し防災について学び夕飯と朝食は防災食を食べたりし、朝の9:00下校とか学校の先生のあり方で良いのですが、学びをしてほしい。) 5年生からではなく、1年生から一泊でというのがいいと思います。また、いつでも学校の体育館の利用がたくさん出来るようになると嬉しいです。子供からバスケがしたいと話が出るのですが、する施設が限りがあり予約も取りにくく、実現が出来ていません。もっと体育館の開放があればとても嬉しいです。まだまだ難しいことはあるかもしれませんが、この意見が少しでも通り子供に還元できればと切に願っております。どうぞ宜しくお願い致します。	9,7	防災拠点、地域開放
24	40-49歳	「地域の拠点としての機能」 グラウンドや体育館、教室のPC機材などを含めた施設面を活用し、学校教育と地域交流のクロスする拠点としての機能を希望します。日野第三中学校で行われたほどくぼんおどりは学校の備品や機能をフルに活用させていただき地域の多世代交流を実現することができました。地域全体で子供を育てるという点と、生徒が地域のために何ができるかを考える機会、保護者が学校教育との接点を持つ機会、いろいろなことが生まれる空間となれる可能性を感じました。	7	地域開放
25	30-39歳	いじめのない、みんなが安心して通える場所	その他	いじめ

市民からのご意見については、引き続き集計の上、検討委員会の各回にて報告する。